

愛媛県肱川で得られたカライワシ

辻 幸一¹・松田久司²

¹南予生物研究会

²NPO 法人 かわうそ復活プロジェクト



写真1 *Elops hawaiiensis* Regan, 1909 カライワシ

種の記録

Elopidae カライワシ科

Elops hawaiiensis Regan, 1909

カライワシ(写真1)

観察記録 採集年月日:2026年3月27日. 採集場所:愛媛県大洲市長浜町下須戒 肱川大和橋下流(33.5958N, 132.4977E). 採集方法:巻き網. 体長54cm. なお, 個体は撮影, 体長測定の後処分し, 標本は現存しない.

種の特徴

体は銀白色で, 背面は青緑色. 口は大きく, 上顎の後端は眼窩の後縁下よりも後方に達する. 脂鱗が瞳孔を除いた眼のほとんど全域をおおう. 体の鱗は小さく, 画像から計数した側線鱗数は約99. 背鰭基底に幅広い鱗鞘がある. 臀鰭基部は背鰭基底後端よりかなり後ろに位置する. 背鰭の最後の軟条は糸状に伸びない.

備考

採集個体の上記特徴は中村(1975)および藍澤・土居内(2013)のカライワシに一致するため本種と同定した. 日本において本種は青森県から琉球列島にかけて広く分布するが(藍澤・土居内, 2013), 河川からの記録はレプトケファルス幼生(葉形仔魚)など未成魚のみで, 成魚での報告は見当たらない. 瀬戸内海流入河川からの記録としては大分県(大野川), 広島県(芦田川), 兵庫県(揖保川, 加古川), 大阪府(淀川, 近木川)などがあり(サイエンスミュージアムネット <https://science-net.kahaku.go.jp/>; 河川環境データベース <https://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>:どちらも2026年3月31日参照), 愛媛県でも肱川から1998年10月に体長7.6cmの幼魚

1個体が採集されているほか(高橋ほか, 2000), 松山市からも目録的に記録されている(清水・水野, 2002). 本種は体長75cmに成長する暖海沿岸性の表層魚で(藍澤・土居内, 2013), 今回得られた個体は肱川における成魚サイズでの明らかな記録となる. 本報告の個体が採集された6日後(4月2日)にも巻き網で同サイズの本種と見られる個体が捕獲されており(上満, 私信), 本河川にはこの時期, まとまった数の成魚が侵入していたことが予想される.

謝辞

肱川漁業協同組合と同組合員の上満 武氏には採集個体の情報と写真撮影の許可をいただいた. ここに厚く御礼申し上げる.

引用文献

- 藍澤正宏・土居内 龍. 2013. カライワシ科. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 53, 233-234, 1780.
- 中村守純. 1975. 原色淡水魚類検索図鑑, 第5版. 図鑑の北隆館, 東京. 260pp.
- 清水孝昭・水野信彦. 2002. 松山市産淡水魚類目録. まつやま自然環境調査会(編), 松山市野生動植物目録2002. 松山市環境保全課, 松山. 23-26.
- 高橋弘明・橋本健一・東 健作・平賀洋之. 2000. 肱川で採集されたカライワシ *Elops hawaiiensis* Regan. 南予生物, 11:42-43.

(2026年4月4日受付, 2026年4月13日公開)

連絡先: 辻 幸一 (e-mail: tuzihaze2@gmail.com)

(Kouichi Tsuji and Hisashi Matsuda. 2026. *Elops hawaiiensis* (Elopidae) collected from the Hiji River, Ehime Prefecture. NS fieldnote, 26011)